

NEW YEAR 2026

新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2026

Program

チャイコフスキー：バレエ組曲《眠りの森の美女》《くるみ割り人形》《白鳥の湖》より
J.シュトラウスII：喜歌劇《こうもり》序曲
J.シュトラウスII：ワルツ《春の声》
J.シュトラウスII：ポルカ《雷鳴と電光》
J.シュトラウスII：ワルツ《美しく青きドナウ》

三大バレエの名曲と
ウィンナ・ワルツ&ポルカ
華やかに新年を祝う。

指揮
広上 淳一

©Masaaki Tomitori



司会
田添 菜穂子

2026年
1/12 [月・祝]
16:00開演 15:30開場

NEW JAPAN
PHILHARMONIC
SUMIDA, TOKYO
©K.Miura

可児市文化創造センター ala 主劇場

【料 金】一般7,000円 / 25才以下3,500円(全席指定・税込)

【発売日】2025年11月8日(土) 9:00～ ※電話予約は翌9日(日) 9:00～

主催：(公財)可児市文化芸術振興財団  文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



webページ



心躍るマエストロ、広上淳一がお贈りする
バレエ「眠りの森の美女」「白鳥の湖」
「くるみ割り人形」の名曲と
ウィнна・ワルツとポルカで
新年の幕開けを華やかに。

NEW
YEAR
2026

新日本フィルハーモニー交響楽団
ニューイヤー・コンサート2026

指揮
広上淳一

Junichi HIROKAMI

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンパス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、ラトビア国立響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。2008年より14年間にわたって京都市交響楽団常任指揮者を務め、輝かしい時代を築いた。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

司会

田添菜穂子

Nahoko TAZOE



福岡県出身。イギリス・ノッティンガム大学留学を経て横浜国立大学経済学部卒業。東北放送(TBS系列)アナウンサーを務めた後フリーに。クラシックをこよなく愛し全国各地にてオーケストラ・室内楽コンサートの司会や朗読共演などを行う。音楽で子どもたちの生きる力を育む「エル・システムジャパン」の事業にも参画。趣味はフルート。2013年～2018年までNHK-FM「DJクラシック」を担当。今年4月～NHK-FM「クラシックの庭」出演中。

管弦楽

新日本フィルハーモニー交響楽団

New Japan Philharmonic

NEW JAPAN
PHILHARMONIC
SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(1975～79年)、第2代音楽監督・井上道義(1983～88年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(2003～13年)、第4代音楽監督・土岡敏之(2016～21年)。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(2010～16年)、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence(2013～15年)、

久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)音楽監督(2004年～25年3月)、Music Partner(2020年～25年3月)を務めた。受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト: www.njp.or.jp 公式Facebook: [/newjapanphil](https://www.facebook.com/newjapanphil)
公式X: [@newjapanphil](https://twitter.com/newjapanphil) 公式Instagram: [/newjapanphil](https://www.instagram.com/newjapanphil)

関連企画

リハーサル見学&デザートセット

普段観ることができないオーケストラのリハーサルを見学し、
じゃぱんサンドイッチ特製のデザートとコーヒーを楽しむひととき。

日時: 公演当日1月12日(月・祝) 13:15～15:15
会場: 主劇場、じゃぱんサンドイッチ
定員: 30名(本公演のチケット購入者限定)
料金: 1,500円
販売期間: 11月8日(土)～12月27日(土)

チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala インフォメーション

Tel.0574-60-3050 (9:00～19:00)

火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み



インターネット予約



当日ハーフプライス対象



託児サービス対象

お申込みはWEBページから

1名500円(申込み12/22まで)

※駐車場が混雑することが予想されますので、
お時間に余裕を持ってお出かけください。

お問い合わせ

可児市文化創造センター ala

Tel. 0574-60-3311 (9:00～22:30)

火曜休館／祝日の場合は開館・翌平日休み

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139

URL <https://www.kpac.or.jp>



kpaciala



kani_ala_0727



@kani_ala

交通アクセス

■東海環状自動車道可児・御嵩ICから約15分

■中央自動車道 多治見ICから国道248号線経由で約25分

■名鉄名古屋駅より約50分・日本ライン今渡駅下車、徒歩10分

■JR名古屋駅より約70分・可児駅下車、タクシーで約10分、徒歩30分

